

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年5月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104100
法人名	有限会社 ウェルケア
事業所名	グループホーム 陽だまりの家
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町4880番地15 (電話) 099 - 295 - 7240
自己評価作成日	平成29年4月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯4丁目2番6号
訪問調査日	平成29年5月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①ターミナルケアに関しては、在宅医療と24時間連携がとれているため、ご家族・職員・かかりつけ医が一体となった終末期ケアが出来ている。今後は、グループホームが終の棲家ではなく、ご家族のもとへ帰れる場所であるよう在宅支援にも取り組みたい。
- ②スピーチロック(言葉による拘束)について理解し、掲示等を行い、常に意識して取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・管理者は吉野地区全体のサービス事業所の組織連携作りやボランティア活動などで認知症のサポートをしたり、認知症の劇を通して地域の人々に理解を深める取組をしている。
- ・医療連携で24時間の在宅医療の連携が図れており、利用者・家族も安心して生活ができている。
- ・利用者ができることを充実感を持って自由に取り組んでもらうように自立支援に向けて支援している。
- ・地域密着型として近所付合いを大切にしており、敬老会の時、紅白まんじゅうを近隣に配布し近所からは野菜の差し入れもある。
- ・栄養士がいて料理が充実して喜ばれている。施設のこだわりがあり、米は農家から取り寄せたり、手作りの味噌やお茶にもこだわっている。
- ・食事前の嚥下体操や食後の口腔ケアにも力をいれており、冬場のインフルエンザの感染もなかった。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各職員が、利用者様が安心して生活していくには何が大切かを考え、理念を作り上げている。日々のケアを通じて、理念の共有と実践に努めている。	事業所独自の理念を基に3つのモットーを掲げ日々取り組んでいる。職員会議で事例を出して、入居者一人ひとりが安心した生活が送れるように理念を話し合っている。ホールや玄関・休憩室など絶えず目に触れる場所に理念を掲示しパンフレットにも掲載し、全員で共有と実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭りや敬老会等の施設イベントへの参加の働きかけ、日頃の散歩や行事食のお裾分け、回覧板のお届け等を通じて交流を持ち、野菜などを頂くこともある。	自治会に加入し回覧板を利用者と届けたり、地域行事に参加している。敬老会の時、近隣へ紅白まんじゅうを配ったり、野菜などの差し入れもあり、地域と継続的な交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域包括と吉野地区のグループホームや他職種が協働し、認知症の地域理解を深める為の活動を行なっている。又、来訪者のお話を傾聴し、地域の方々の身近な相談窓口となるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議には消防署を交えた避難訓練なども取り入れ、緊急時の対応等についてご家族や民生委員と意見交換を行っている。ご家族からのご意見については、迅速にケアに反映させるよう努めている。</p>	<p>運営推進会議で事業所の活動報告や困難事例・課題などについて報告している。出席者から行政のことや地域情報などの提供があり、行事の見物に出かけたり、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>生活保護や介護認定の手続き等で頻繁な行き来がある。又、地域包括や行政との話し合いの場に参加する等して、地域全体で連携に取り組んでいる。</p>	<p>市の担当者を訪ね申請書類を持参して利用者の暮らしぶりやケアの様子を伝え、電話でも必要に応じて相談している。市主催の研修会や話し合いの場に積極的に参加し担当者との連携を深めている。地域包括支援センターとの連携を取り合い運営推進会議にも毎回、出席して貰っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する資料を読み、職場で勉強会等を開き理解に努めている。パーソン・センタード・ケアを全ての職員が基本として、命に関わらない限りは行動制限はせず、利用者様の心身に拘束のないケアに努めている。</p>	<p>身体拘束廃止の勉強会を開催し、身体拘束の弊害などを学び、拘束をしないようにしている。特に言葉による拘束がないように利用者の自由な暮らしを支えている。玄関は昼間においては、鍵をしていないので自由に出入りができる。全国で起きた虐待の新聞記事などは回覧してミーティングで話し合っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日頃より利用者様の小さな異変も見逃さず、報告するよう徹底し原因追及を行なっている。事故報告書については個別面談で話し合い等行い、再発防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度の研修会に参加し理解に努めている。利用者様の必要性に応じて制度を活用できるよう支援し、職員全員が、利用者様にとって一番身近な権利擁護者である自覚を持つよう努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に至るまでの過程（体験デイや体験宿泊等）を通して、不安や疑問点がないかを尋ねその都度話し合いを行い、納得して頂いた上で契約・解除をしてもらうようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族面会時には必ず職員が近況報告を行い、ご意見等をお伺いできる場を設けるようにしている。また、利用者様御本人から直接意見や不満をお話して下さることも多く、すぐに会議での検討・ケアの改善を行なっている。</p>	<p>利用者とはリラックスしている時や入浴時に会話がはずむので自然なかたちで話をして希望などを引き出している。家族からは行事の時や面会の時に意見や要望を聞いて連絡ノートに記録している。食事便りや近況報告を家族に送付して意見や要望を出しやすい環境づくりに努めている。出された要望や意見は検討会議を持ち早く反映させるようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングの際や個別に職員の不安や疑問、意見等を話せる場を出来るだけ作っている。一人一人の意見を大切にし、チームとして一致団結してケアに望めるように努めている。</p>	<p>ミーティングや個別面談などでの職員の意見や提案は管理者が集約してスタッフ会議を通して全員で話し合い運営やケアに取り込むようにしている。出された意見を反映し、職員が働きやすいように日誌や帳簿の記載の見直しを行った。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎月休日希望を受け入れ、外部の研修等にも参加出来るよう支援している。定期的に個別面談を行い、愚痴や悩みを話せる場を設けている。頑張っている職員には、その分高い評価をつけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全職員に学べる機会をつくり、更にやりがいや自信を持って働いてもらえるよう、資格取得に全面協力している。地域活動や研修にも積極的に参加させている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会や食事会等で同業者と交流する場を持ち、意見交換を行って親睦を深めている。定期的に地域の事業所が集まり、ネットワーク作りや勉強会を行い質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	体験入居等を通して、施設の雰囲気や職員のことを少しでも理解して頂けるようにしている。又、利用に至るまで御本人と直接お話する機会を必ず設け、不安や要望等を受け止める努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用に至るまでにご家族と直接お話する機会を設けて希望や要望等を受け止め、共に協力して利用者様の生活を支えていけるような関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者御本人・ご家族が個々に求める支援とグループホームとして提供できる支援（地域の協力機関を含め）を見極め、その時々々の状況に応じて対応して行けるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	重度であっても、認知症ケアは決して一方的に施されるものではないと肝に命じ、相互に思い合い、同じ目線・同じ立場にたったケアに努めている。利用者様から学び、教えて頂ける場面を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の現状を毎月のお便りやメール、面会時等にご家族へお知らせしている。又、ご家族との外出・外泊を支援し、共にご本人を支えていける関係を築けるよう努力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人達との関係が途切れないよう、利用者様へ確認したうえで面会や電話等に対応している。	馴染みの友人・知人が気軽に訪問できるよう、電話や面会時は丁寧に対応して訪問しやすい雰囲気作りに努めている。散歩や買物支援をしたり、家族の協力を得て行きつけの美容室や墓参り・外泊・外食などの支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を日々の生活の中で把握し、場合によっては職員が間に入りより良い関係を築いて頂けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した後も、運営推進会議に参加をお願いし、また、気軽に施設へ遊びに来て頂けるような関係を築けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	以前の暮らしと変わらず、なるべくご本人の希望に沿った生活が出来るように支援している。困難な場合は、ご本人と話し合いをし、検討するように努めている。	入浴やお茶タイム・トランプ遊びなどの時に思いや意向の把握に努めている。家族や友人の面会時や会話・表情・動作などから推し測ることもある。情報は職員が共有できるようにしている。意思疎通が困難な場合は家族や関係者から情報収集をして利用者中心の支援を行うようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に基本情報はサマリー等を通し把握している。又、ご家族からお話を伺ったり個々の人生暦をまとめた情報書を作成し、コミュニケーションに生かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	施設側のスケジュールを押し付け過ぎないように、個々人の過ごし方を尊重している。心身状態については日々検討を繰り返し、職員間で情報交換・共有に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人がより良く暮らすため、毎日変化する心身状態に伴って生じてくる課題について、経過観察及び検討を行った上でご本人やご家族から意見を聴き、それを元に再度職員で検討を重ね介護計画を作成している。	本人や家族の思いや意見を職員や関係者を交えながら話し合い、経過観察やモニタリング、カンファレンスを行い、介護計画に反映させている。変化が見られた場合は現状に合わせて介護計画の変更を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別記録を記載し（検討事項については詳細な記録を徹底し、必要時は別途アセスメント用紙に記録している）職員は利用様の状態や情報の共有をしている。個別記録等を元に、定期的なケアの見直しを行なっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	在宅医療や歯科往診、往療マッサージ、デイサービス等を利用し、多機能性を活かして出来るだけ御本人やご家族の要望に応じた支援が出来るように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	教育機関と協力し、小中学校の職場体験の受け入れ、ボランティアさん等に来て頂く等し、外部の方々との協働し支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望を大切に、出来る限り、入所前からのかかりつけ医に継続して見て頂けるよう支援している。	本人・家族が希望する複数のかかりつけ医の受診を支援している。定期の2週間に1回の在宅医療がある。訪問歯科診療もあり、適切な医療が受けられるよう医療機関と関係を密に結んでいる。他科受診は家族に相談して家族が行けない場合は職員が行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の看護師や薬局の薬剤師等に気軽に相談しながら、利用者様の健康管理について意見交換を行なっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報書を提出するだけでなく、利用者様の入院時は出来るだけ職員も付き添い、直接看護師に利用者様の日頃の様子等を伝えている。入院後は、定期的に来院し情報交換を行い、対応の仕方等を事前に把握しておくように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>かかりつけ医に終末期について説明を受け、ご家族にも定期的にお話をして意向を確認している。又、全員で方針を共有し、最期までその方らしく過ごせるよう、医療機関・ご家族と協力してターミナルケアに努めている。</p>	<p>重度化した場合、本人や家族との話し合いで進め、家族へは、段階的に説明するようにしている。看取り希望があれば看取りの指針を基に家族と話し合い方針の統一を図っている。状態の変化がある毎に本人・家族に説明を行い、かかりつけ医と連携し全員で方針を話し合い、支援につなげている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応については会議にて指導を行いマニュアルも作成している。練習用キットにて、AEDや心臓マッサージのトレーニングをしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時の対応手順を掲示し、職員へは災害時対応マニュアルを配布している。又、家族や民生委員と共に定期的に避難訓練を行い消防署の指導を受けている。</p>	<p>年2回消防署の指導を受けて災害訓練を実施している。第1番目の避難場所は駐車場にしている。年1回自主訓練を行い、防火責任者を中心に消火器の使い方、訓練の手順確認、障害物の有無などを実施。備蓄は米や水・味噌汁・スープなどの食品を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手の気持ちになって考え、言語・非言語のコミュニケーションを用いて個々人の誇りやプライバシーに配慮している。個人情報については事務所で管理し適切に扱っている。	人格を尊重し、声かけや言葉遣いなど全体会議や申し送り時に繰り返し確認と改善に向けた取り組みをしている。部屋に入る前に入室の理由を話して了解をもらって入室している。マニュアルがあり事故があった場合、マニュアルを見直し検討するようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どんな事でも、必ずご本人と相談し、話し合った上で決定している。普段からご本人がどのような思いや希望を持っているかを知り、その意向に沿えるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のご意向に合わせて生活出来るよう常に心がけ、決して職員側のペースで行なわないよう努めている。職員が焦らずゆとりを持ってケアを行なえる環境も出来ている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に移動美容室に来てもらい、カラー・パーマ等も希望に応じてして頂いている。爪切や髭剃等の整容チェックは毎日行ない、好みの衣類を着られるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け、調理の下ごしらえ、下膳、食器洗い等をして頂いている。献立は利用者様の好みを反映出来るよう心掛けている。ご家族にも意見を伺うようにしている。	季節の料理や行事食を楽しんでいる。食事前の嚥下体操をしたり、口腔内の清潔を保つ為、食後必ず口腔ケアを行っている。利用者の個々の力量を活かしながら調理の下ごしらえや下膳などを一緒に行っている。色彩や栄養バランスも考えながら、リクエスト食や行事食を献立に取り入れ食事が楽しいものになる様に支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月体重管理を行い、栄養士に献立作成を依頼して栄養バランスのとれた食事を提供している又、個々の排泄量を考え、必要量の水分を摂っていただくようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一日4回の口腔洗浄を基本として個別支援を行い、口腔内の清潔や誤嚥性肺炎の予防に努めている。必要な方は定期的に歯科検診を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄リズムを把握し、排泄の失敗等を減らせるように努めている。出来るだけオムツ等は使用せず、御本人と相談しながら、一人一人の心身の状態にあった支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を基本としている。観察記録を行い、昼間は布パンツや尿取りパット・リハビリパンツで対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品を多く摂って頂き、水分摂取量にも注意している。毎朝体操を取り入れ、日中も身体を動かして頂けるよう、散歩や生活リハビリの支援に努めている。腹部マッサージ等も行なっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日や入浴時間はある程度決められているが、出来る限りその方の希望に添えるよう努めている。入浴日以外は希望があれば清拭や足浴等で対応している。	入浴は週3回行っている。湯温度の調節や入浴介助などの支援をしている。入浴日以外でも希望があれば清拭・足湯も対応している。入浴を嫌がる利用者は声かけや職員を交代したり、曜日を変えたり無理強いはしないようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	在宅での生活習慣を継続出来るよう支援し、日中は希望や体調に合わせて休息をとってもらっている。夜間は音や室温、照明等に配慮し、安眠出来るよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤表ですぐに利用者様の薬剤情報を確認出来るようにしている。誤薬を防ぐ為、担当者だけでなく職員全員が責任を持って服薬確認を行うシステムを作り徹底している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>月1～2回はイベントを企画し、楽しんで頂けるよう支援している又、生活歴に合わせて炊事や塗り絵、散歩等好きな事をして頂ける時間を大切にしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望に合わせ3ヶ月に1回程度の買い物支援している。又花見やドライブ、ピクニック等を企画し、定期的に外出の機会を設けている。ご家族には外出・外泊をお勧めし、ご家族との時間を過ごして頂けるように努めている</p>	<p>日常的に近隣の公園への散歩や買物などに出かけている。定期的に戸外に出かけるようにしている。事前に希望を聞いてマイクロバスを使い遠くに出かけたり、高校野球を見に行ったり、買い物に職員と出かけ自分の好きな物を自由に買ったりしている。足湯や水族館・ソーメン流しなどにも出かけている。車椅子対応の車輛もあり外出を楽しめるよう努めている。家族との外出やドライブ・墓参りなども出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持や使用については制限等なく、希望があればご家族と相談の上対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば、自由に電話のやり取りをして頂いている。ご家族へのクリスマスカードや年賀状等の支援も行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花々や絵、その月の合わせたレクリエーションを取り入れ五感で季節を感じて頂けるように支援している。又、不快な音や臭い等にも配慮し、心地よく安心して生活できる環境作りに努めている。</p>	<p>共有スペースは掃除が行き届き、快適な室温・湿度で音や温度調整もされ自然光がホールを明るくしている。壁には行事写真や入居者が協力して作り上げた季節感のある作品や花が飾られている。お喋りやぬりえをしたり、テレビを楽しめるソファがありゆっくりくつろげるよう工夫されている。調理場も身近なところにあり食事の準備風景や香りなどが漂う環境作りになっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間では自由にお好きな場所で過ごして頂けるようにしている。又、気の合う利用者様同士がどこでもゆっくり語り合えるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>身の回りの物は出来るだけ長年愛用されてきた物を使って頂きご家族からのお手紙やお好きな絵・写真等を飾るのをお手伝いしている。</p>	<p>居室はベッドやタンス・エアコンが備えてある。テレビや時計・写真・小物など自宅で使っていたものを持ち込み個性的である。仏壇や表彰状などが飾られている。本人や家族と話し合い、好みの洋服や帽子・バッグがハンガーに掛けられ個性的な居心地の良い居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>その方に合わせて必要な所に大きな字で札をかけたり、職員の顔写真を張り出し声を掛けて頂きやすいようにしている。又、その方の力を見極め、出来ることは極力手伝わないように徹底している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない